



オープンイノベーションによる 次世代ものづくりライフ・シンポジウム



主催 横浜国立大学 学長重点支援拠点「ものづくりライフイノベーション研究拠点」
共催 横浜国立大学 超 3D 造形ものづくりネットワーク、成長戦略研究センター
地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)
内閣府 SIP プロジェクト革新的設計生産技術
「超 3D 造形技術プラットフォームの開発と高付加価値製品の創出」
「迅速で創造的な製品設計を可能とするトポロジー最適化に基づく超上流設計法の開発」
「ナノ物質の集積複合化技術の確立と戦略的産業利用」

場所 教育文化ホール(http://www.ynu.ac.jp/access/map_campus.html S1-2)

日程 平成 29 年 6 月 27 日(火) 9:20-18:10(受付開始 8:50) 参加費無料(懇親会 2,000 円)

オンライン参加申込 <https://sites.google.com/site/monodzukurilifesympo/> (申込締切 6 月 20 日まで)

開催概要

近年、「超スマート社会(Society 5.0)」の実現が提唱され、人々が生き活きと快適に暮らせる社会の実現に向けて、科学技術の発展への期待が高まっている。本学では、「ものづくりライフイノベーション研究拠点」を発足し、理工系のものづくり技術を医療や福祉に応用するために、機械、電気電子、化学、医療・バイオなど幅広い分野の研究者が協同して異分野融合研究を推進している。さらに、先端研究の社会実装を加速するために、経営系のマーケティングやイノベーションに関する英知を結集し、科学技術イノベーションを社会システムの変革につなげる活動も行なっている。

本シンポジウムでは、本学の 3D プリンティング、ロボット、ウェアラブルデバイス、再生医療などに関する最先端の研究成果を紹介し、また、特別講演として、異分野融合による革新的なロボットやバイオテクノロジーを研究されている東京大学・竹内昌治教授をお招きし、最先端の研究をご紹介します。さらに、内閣府 SIP プロジェクトから最適設計、複合ナノ材料、超 3D 造形に関する招待講演も行います。また、ランチタイムにはラボツアーも予定しております。奮ってご参加ください。

プログラム

未来社会を拓く「ものづくりライフイノベーション」 ウェアラブル、ロボット、医療の最先端研究

- 9:20 横浜国立大学 福田淳二 准教授 毛髪や骨の再生医療
9:50 横浜国立大学 太田裕貴 准教授 有機・無機ハイブリッド技術によるスマートヘルスケアデバイス
10:20 横浜国立大学 藤本康孝 教授 次世代ロボット用スマートアクチュエータ
10:50-11:00 休憩

ものづくりライフイノベーション 特別招待講演

- 11:00 東京大学 竹内昌治 教授 異分野融合研究によるバイオハイブリッドシステムの創出
12:00-13:30 休憩・ポスター展示
ラボツアー(事前申込(各 20 名まで) 丸尾研究室、藤本研究室、福田研究室)

3D プリンティングによる次世代ものづくり 内閣府 SIP プロジェクトと世界の最新動向:最適設計、3D 造形、複合ナノ材料

- 13:30 横浜国立大学・成長戦略研究センター 萩原恒夫 氏 3D プリンティングの最新動向～新技術・新材料～
14:15 京都大学 西脇眞二 教授 トポロジー最適化による新機能デバイス・材料の構造創成
15:00 豊橋技術科学大学 武藤浩行 教授 ナノ複合粒子の創製と次世代ものづくり技術への展開
15:45-16:00 休憩・ポスター展示

SIP による地方創生:成功するオープンイノベーションとは?

- 16:00 横浜国立大学 丸尾昭二 教授 超高精細 3D プリンティングの開発とオープンイノベーション
16:35 横浜国立大学 河野英子 教授 新分野への多角化に向けたオープンイノベーションの実践

企業における 3D プリンティングの活用事例 ～新たな市場開拓～

- 17:10 株式会社リコー 飯塚厚史 氏 価値ある 3D 造形製品のための創成的デザイン手法
17:30 SOLIZE Products 西来路正彦 氏 金属造形の動向と光造形の新しい材料開発
17:50 アサイエンジニアリング 浅井伸一 氏 3D プリンターを駆使したカスタム・ロボット制作と実践ゼミ
18:30 懇親会(横浜国立大学・生協 第二食堂)

お問合せ: 超 3D 造形ものづくりネットワーク e-mail: super-3dfab@ynu.ac.jp

